

令和元度不祥事防止に係る取組

学校名（ 神石高原町立豊松小学校 ）

（１）「個人情報漏えい防止」

概 要	キーワードは「一目で分かる！！」 USB・鍵の所在の明確化 学校用カメラの使用の推進 USB・カメラのデータの年度末処理
具体的な取組内容	○USB・鍵の所在の明確化 ・USB・鍵があるかどうかが見える化にする。 ・USBの持ち出しは、「個人情報持ち出し簿」に記入し、管理職に確認印を受ける。返却時には管理職へ報告し確認印を受ける。 ・鍵の使用については、誰もがみえる場所に、鍵の使用者が名前を書く。 ○学校用カメラの使用の推進 ・学校用カメラを使用する場合は、どのカメラを誰が使用しているかが分かるよう使用者の名前を書く。 ○USB・カメラのデータの年度末処理 ・USB・カメラの中のデータを年度末には空にし、管理職が確認する。
成果と課題	○USB・鍵があるかどうか一目で分かるため、ない場合は早めに気付くことができ、すぐに職員へ声をかけ、発見することができた。 ○全職員が見ることができる場所に「見える化」しているので、誰もが、不明に気付くことができ、声をかけ合うことができた。 ○早めに鍵の不明に気付くことができるため、早期に発見できる。そのため、鍵を探す時間も短縮でき、業務改善にもつながっている。 △個人カメラの使用から学校カメラの使用へと職員の意識を高めているが、カメラの台数が少ないため、徹底は十分ではない。カメラの台数を計画的に増やしていくようにしている。

(2) 校内不祥事防止委員会で行った研修内容で効果的であったもの

概 要	「教材の未使用・未返却防止に向けての取組」 近年、教材未使用・未返却という不祥事が起こっていることに対して、本校での防止策について校内不祥事防止委員会で検討をした。 ・教材使用届を週案簿に貼り、学級で何の教材を使用しているのかを明確にする。 ・教材を返却した日付を記入する。
講 師	
成果と課題	○週案簿に貼り付けることで、週案簿チェックの時に教材の使用状況・返却状況を教務主任・管理職が把握することができ、各自への声かけをすることができるようになった。 ○既存の教材使用届を活用することで、負担なく確認をすることができる。 ○教材の返却時に日にちを記入することで、確実に返却したことを確認でき、返却忘れの未然防止となる。教員の教材の返却の意識を高めることができた。